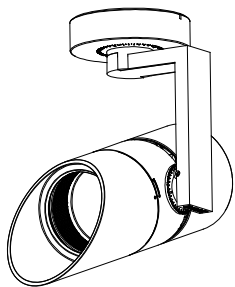


姿図



仕様

- ● ● ● ● ● ● ●
光源イ度
配デ角度
求振角式
首転方圧
回光力電
調光力雷
入入力

LEDモジュール(装着済)
 ノロ(N), ミディアム(M)
 ブラック(W)、マットブラック(M)、シルバー(S)
 F10度 F90度
 380度
 DA1(側射方式(L1))
 10V±6%, 200V±6%, 242V±6% (専用ドライバー入力)
 0.213A (専用ドライバー100V入力時)
 0.110A (専用ドライバー200V入力時)
 0.097A (専用ドライバー242V入力時)
 5.1 W (専用ドライバーを含む、100V入力時)
 5.3 W (専用ドライバーを含む、200V入力時)
 5.5 W (専用ドライバーを含む、242V入力時)
 ※消費電力は、JIS C 8105-3の試験測定方法による
 電流消費 (50/60Hz共用)
 36.9V
 0.48A
 770g (専用ドライバー込み)
 用工具付属

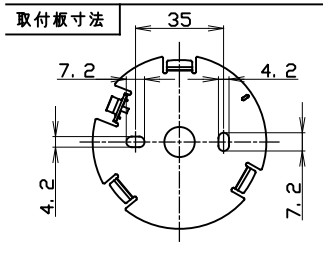
製品コード

MMP-080S/SH/W·M·S/FS/N·M/10B27/L1/1
MMP-080S/SH/W·M·S/FS/N·M/10B30/L1/1
MMP-080S/SH/W·M·S/FS/N·M/10B35/L1/1
MMP-080S/SH/W·M·S/FS/N·M/10B40/L1/1

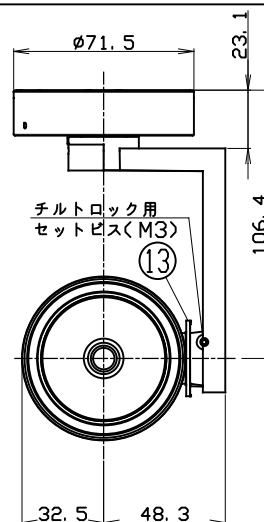
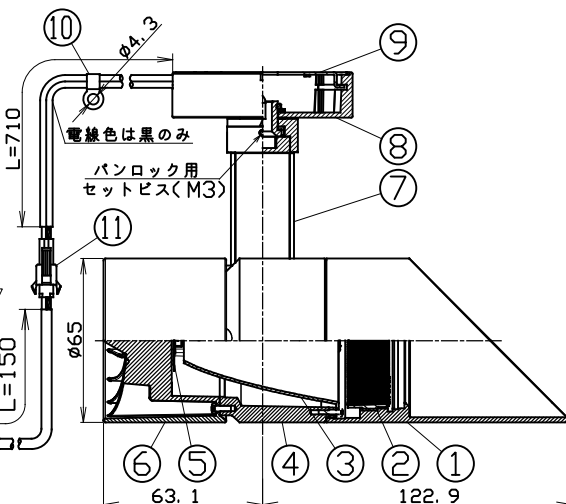
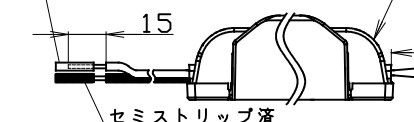
オプション

フルディフューザーレンズ	MLA-080/DF01
セミディフューザーレンズ	MLA-080/DS03
フルスプレッドレンズ	MLA-080/SF01
セミスプレッドレンズ	MLA-080/SS01
エッジコントロールレンズ	MLA-080/EC02
シャープナー (N配光専用)	MLA-080/SH01

取付板寸法



W: 210, D: 41, H: 34 230g
調光信号線用端子台付
電線指定 CPEV-1Pφ0.9~φ1.2

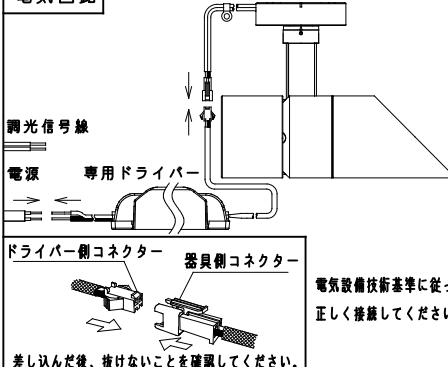


	品名	材質	簡 要
1	フード	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
2	オプションホルダー	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
3	リフレクター	アルミ	_____
4	ボディ	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
5	LEDモジュール	_____	_____
6	ソケット	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
7	アーム	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
8	フランジケース	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
9	取付板	銅板	_____
10	セーフティークリップ	真ちゅう	_____
11	セーフティーコネクター	樹脂	_____
12	電源ドライバー	_____	DALI 制御方式調光対応
13	チルトプロトラクター	樹脂	_____
14	入力ケーブル	_____	白、黒 AWG16 より線1.25mm ²

ご注意

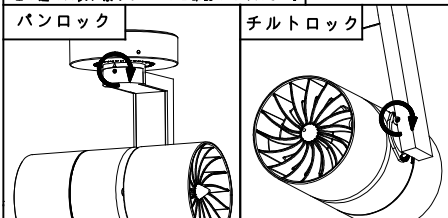
- LEDにはバツキがある為、同一品番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 器具の近くでラジオ・テレビ等を使用しないでください。雑音が入る場合があります。
- 器具の改造は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 灯具を上向きに照射しないでください。発光部に埃が積もり、火災の原因になる恐れがあります。
- ドライバーは専用ドライバーを使用してください。
- 専用ドライバー(1次側)には、送端子台はありません。
- 1次側電線は、直接入力ケーブルに接続してください。
- 電気回路への接続の際には、JIS C8155規格に沿って容量計算してください。
- 調光にはDALIシステム調光器(Devisetyp6)をご使用ください。
- 器具は、照射物より0.2m以上離してご使用ください。
- 周囲温度0℃〜35℃の範囲でご使用ください。
- 不用意に器具に触れるとやけどの恐れがある為、据付・調整者以外がアームブリーチ内に寄り付けない手段を設ける、もしくは手が触れられぬよう器具に囲いを設けてください。
- パン、チャルトがロックした状態で灯具を動かさないでください。
- パン、チャルトロック用のセッティングは正めずしないでください。脱落し、損失する恐れがあります。
- 取付板は下地のある場所に付属のネジ(M4)で取付けください。
- 落下防止の為、器具側ケーブルに付属されているセーフティクリップを付属のネジ(M4)で器具から300mm以内の強固な場所に必ず取付けて下さい。
- 取付板の裏面にラジエーター側面の三角印を合わせて、本体を取付板に挿入してください。

電氣回路

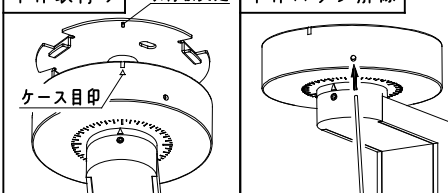


電気設備技術基準に従って
正しく接続してください。

差し込んだ後、抜けないことを確認してください。



本体取付け	取付板突起	本体ロック解除
-------	-------	---------



付板に本体を設置した後に、本体が外れないようロックがかかっていることを確認してください。

- 本体を取付板から取外す際は、フランジケース側面の孔にφ2mm以下の棒を差込んでロックを解除してから外してください。